

安全性

コパイバオイルの毒性は、一般に使用されている殺虫成分と比べてはるかに低く、LD₅₀という観点では食塩よりも安全性が高いということになります。

殺虫剤に使われている成分との毒性比較

	急性経口毒性比較 LD ₅₀ (mg/kg) ラット
コパイバオイル	3790①
シフェントリン	318②
シフルトリン	900②
フィプロニル	970③
(参考)食塩	3000②

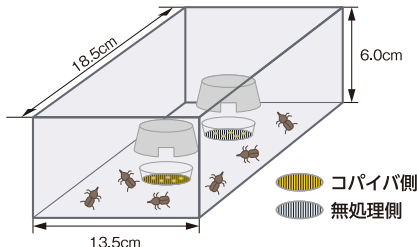
※比較のための参考 ①Journal of Ethnopharmacology. Vol.22, Pg.101, 1988参照
 ②化学物質毒性データ総覧(RTECS)参照
 ③農薬登録申請資料(1995)参照
 ※LD₅₀とは、投与された個体の半数が致死する、個体1kg当たりの投与量を示します。

忌避効果試験

コパイバオイルフィラメントの忌避効果を確認するため、アルミカップ(直径38mm、高さ10mm)の底敷き部分に、直径38mmのろ紙にコパイバオイルフィラメントを貼り付けたものを処理区、無添加のポリプロピレンフィラメントを貼り付けたものを無処理区として底敷きの上に載せ、その上に押麦0.1gを置き、上からトンネル状に加工したアルミカップを被せてシェルターとした。

メッシュで蓋をした長方形のプラスチック容器に、ココゾウムシの成虫20匹を放し、暗条件下で24時間後における各処理区への個体侵入数を測定して下記の式により忌避率を計算した。試験は3回の反復を実施した。

忌避率(%)=(1-処理区の個体数/無処理区の個体数)×100



	A	B	C	計	忌避率
処理区	3	2	4	9	80.9
無処理区	16	15	16	47	
外	1	3	0	4	

忌避率

80.9%

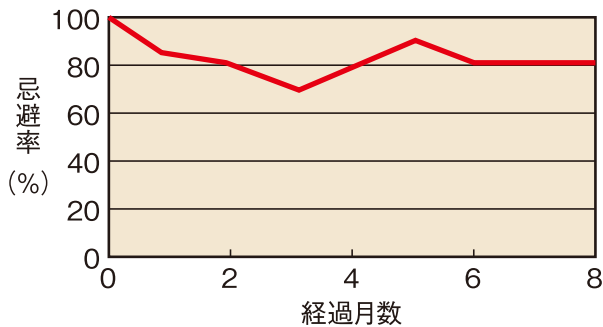
効果期間:8ヶ月

※一定の環境下での測定値です。使用環境により異なります。

※一定の環境下での測定値です。使用環境により異なります。
 ※上記調査結果は、約8ヶ月後のコパイバオイルフィラメントの結果です。

忌避効果の持続性

コパイバオイルフィラメントの効果持続性を確認するため、アルミ袋から開封後のコパイバオイルフィラメントを、上記試験にて1ヶ月ごとに実施した。その結果、9ヶ月後に忌避効果が低下(80%以下)した。忌避率は、開封後約8ヶ月間80%以上を維持することが確認されました。



効果期間:約8ヶ月

※一定の環境下での測定値です。使用環境により異なります。
 ※「ドアドアムシヘル・コパイバ」の効果持続期間は、忌避率 80%を維持した期間です。8ヶ月経過後は、徐々に効果が弱くなっていきます。

ドアドア ムシヘル・コパイバ 忌避剤含浸タイプ

ご注文番号	型番	希望小売価格(税別)
234-020-00	DMC-SET	¥9,800

長さ:1m プラシ材質:PP(コパイバオイル含浸) フレーム:PVC
付属品:エンドキャップ、ビス4個

交換用ブラシ DMC-1000
希望小売価格(税別) ¥5,800
効果期間:約8ヶ月 ご注文番号 **234-020-01**

ドアドア ムシヘル スタンダードタイプ

ご注文番号	型番	希望小売価格(税別)
234-040-00	DMS-SET	¥8,800

長さ:1m プラシ材質:PP フレーム:PVC
付属品:エンドキャップ、ビス4個

交換用ブラシ DMS-1000
希望小売価格(税別) ¥4,800
ご注文番号 **234-040-01**

- 使用上の注意**
- ブラシの構造上、ご使用の頻度や環境等により、ブラシの抜けや切れが発生する場合がございます。お取り付け後は定期的にブラシの状態をご確認ください。
 - 安全性の高い成分を使用しておりますが、誤って口に入れたり中身が皮膚について異常が見られた場合は医師にご相談ください。
 - 周辺温度が60℃以上になる場所ではご使用できません。



【本社】 〒534-0027 大阪府大阪市都島区中野町1丁目4番12号
 TEL: 06-6352-6841 FAX: 06-6352-6853
 関東事業所 北関東事業所 大阪物流センター
 【URL】 <http://www.burrtec.co.jp>
 【E-mail】 info@burrtec.co.jp

